

○第10回化学物質・汚染物質専門調査会鉛ワーキンググループ議事概要

日時：平成22年3月9日（火）10：00～11：50

場所：食品安全委員会 中会議室

議事概要：

（1）鉛の食品健康影響評価について

・血中鉛濃度から摂取量への変換について、小グループにより検討された結果が報告、審議された。その結果、現在得られている知見から換算される鉛摂取量は不確実性が高いことから、耐容摂取量を設定することは困難であるとされた。

・本ワーキンググループの結論としては、有害影響を及ぼさない血中鉛濃度をハイリスクグループ（胎児、小児、妊婦、授乳する女性、妊娠可能な年齢層の女性）で $4\mu\text{g}/\text{dL}$ 、ハイリスクグループを除く成人で $10\mu\text{g}/\text{dL}$ に設定することとなった。

・当該結論については、中間取りまとめとして公表し、新たな知見が蓄積された時点で再度耐容摂取量の設定を検討した上で、最終的な食品健康影響評価を取りまとめていくこととなった。

*自然界に広く分布している、加工しやすい重金属です。ハンダ、合金成分、ガラス、食器、顔料、バッテリーなど様々な用途に使われています。1970年代前半に鉛による大気汚染が問題になりましたが、有鉛ガソリンの使用規制等により、現在では大気中鉛濃度は大幅に減少しています。